

アクセスみなみ

南区のまちの魅力、日本の生活ルールを伝える動画ができました



動画の一部を紹介します

外国人に日本の文化や魅力、ルールや風習を伝えることで、来日初期の暮らしをサポートすると共に、増え続ける外国人を受け入れる側である地域住民の戸惑いの軽減を目指し、日本人と外国人が暮らしやすいまちづくりを目指す目的とした動画を作成しました。

動画のなかでは「引っ越してきたばかりだけど、ご近所さんと仲良く過ごすのに気を付けることは？」「トラブルを避けるために知っておくべき自転車のルールとは？」「町内会ってどういう組織？」「地震が起きたときにどうすればよい？」など日本での暮らしのヒントを紹介しています。

動画は日本語版のほかにも中国語版も作成。南区役所のホームページに掲載するほか、南区役所2Fの戸籍相談係のモニターでも視聴することができます。

動画撮影にもご協力いただいた南区にお住いの外国人にインタビュー

町内会加入のお知らせ(上)



日本語教室の様子(右)

●町内会の婦人部でも活動中

金正順(キム・ジョンソン)さん
韓国出身・永楽町

日本で長く暮らしているにも関わらず、日本人と話す機会ってなかなかありませんでした。自由に行ってお茶を飲みながらお互いの文化を伝えあうことができるカフェがあったらいいと思いました。この動画が外国人にとって日本人と交流できる行事に参加するきっかけになってほしいと思います。



●地域のイベントに多数参加

林海国(リン・カイコク)さん
中国出身・白妙町

日本にやって来て16年目です。学生、社会人、自営業のオーナーとしていろいろな経験をしてきて、だんだんと地域に溶け込めるようになりました。これからもボランティア活動に参加して、外国人の後輩たちから頼られるお兄さんのような存在になれば幸いです。



防災備蓄について(左)

2/11に開催しました！

まるごとみなみ体験広場 開催報告

大岡地区センターにて、地域で活躍している方々の紹介事業として開催しました。400人もの参加があり賑わいました。

大人ゆるやかストレッチ

50分、みっちり体を動かしました。
みなさん久しぶりのストレッチで気持ちよさそうでした。

小学生ダンス体験

三代目Jsoulbrothersの曲に合わせて振付を教わりました。
当日だけの指導で幼児から中学生まで見事に発表までできました。

ゲームにチャレンジ

シャフルボード、ターゲットシート、ポッチャの3種類のゲームに大人も子どもも楽しめました。

スポーツ吹き矢

予想を超える参加者で順番を待つ人であふれていました。スポーツ吹き矢に関心のある人がとても多いことがわかりました。



南区内施設で推薦した地域人材紹介パンフレットを作成しました。区内公共施設でお問い合わせください。体験広場での指導者も掲載しています。

みなみラウンジでは、うらふね納涼祭(8月)、みんなの「わっ!」フェスタ(11月)等のイベントで地域の外国人が自国の文化を紹介する活動を行っています。外国につながる若者たちが、保護者やスタッフと一緒に自国の文化紹介(お茶やお菓子の紹介、民族衣装を着用してのお手伝い等)をしています。



フェスタでお母さんと一緒に中国茶をふるまう郭安美恵子(かく・あんみえこ)さん(中国)



自前の漢服でフェスタの手伝いをする林美欽(はやし・みきん)さん(中国)



納涼祭でお菓子を笑顔で配る鈴木アンドレーさん(フィリピン)

タイのお茶とお菓子について来場者からの質問に答える吉澤漣(よしざわ・れん)さん・美香(みか)さん(タイ)

「お菓子とお茶はいかがですか?」と笑顔で呼びかけるアイシャさん(インドネシア)



特集..身近な多文化共生

〜活躍する外国につながる青少年〜

みなみラウンジでは、外国につながる中学生の学習支援教室を7年続けてきました。そこで学習支援ボランティアから日本語や学習の支援を受けてきた生徒が、高校や大学に進学した後、後輩にあたる小中学生への支援を始めることが、少しずつ増えてきています。学習支援の場で頑張る若者の姿を取材しました。

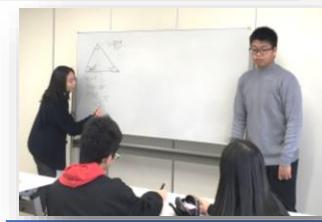


横浜みなみインターナショナルスクール※1で活動を始めた高校生・鈴木アンドレーさん(左)と岩田シャノンさん(右)。アンドレーさんは「わたぼうし教室」※2でも後輩のサポートをしています。

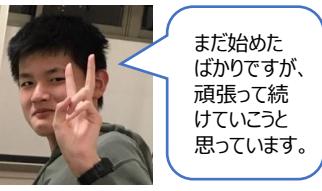
- ※1 主にフィリピンにつながる小中学生にタガログ語・英語で学習支援する教室(土曜午後2時半〜)
- ※2 外国につながる小中学生の初期日本語と学習支援をする教室(土曜午前10時〜)
- ※3 南区周辺地域に住む外国につながる中学生対象の学習支援教室(火曜夕方5時〜)

土曜日の午後、フィリピンの女の子たちがそろそろ帰ろうとした時、シャノンさんがやってきました。みんな帰るのをやめ、もう一度楽しそうに部屋の中へ。そこからは、教室内にはタガログ語が飛び交い、とても楽しそうな言葉のやり取りの中、シャノンさんは数学の角度の求め方のレクチャーを始めました。説明もタガログ語、質問もタガログ語、突っ込みもタガログ語、一人としてつまらなそうないない学習支援の場がそこにありました。少し遅れてアンドレーさんもやってきて、説明に加わると、男の子も楽しそうに話しかけます。みんな、思ったことをすぐ口にするリラックスした雰囲気はそこにはありました。

シャノンさんもアンドレーさんもみなみラウンジの学習支援教室で日本語や学習の支援を受け、高校に進学。アンドレーさんは「わたぼうし教室」※2の第1期生でもあります。シャノンさんは、「横浜みなみインターナショナルスクール」※1でも3年勉強しました。シャノンさんに、「どうして教える側になろうと思ったの?」と聞いてみると、あっけらかんと「だって、日本語難しいでしょ。だから、タガログ語で説明したら、わかりやすいかな、と思って」という答えが返ってきました。自分が受けた支援が、形を変えて後輩へと還元されていく、いいサイクルになっているなあと感じました。年の近い支援者に、子ども達はとてうれしそうです。



フィリピンにつながる後輩に、タガログ語で数学を説明する二人。



まだ始めたばかりですが、頑張ってるって思っています。



学習支援教室「さくらんぼ」で活動する蘭姜(らんかん)くん

蘭姜くんも、みなみラウンジで学習支援を3年間受け、高校に進学した一人です。卒業後、高校の授業の一環で、働く大人へのインタビューをするためラウンジを訪れた蘭姜くん。スタッフへのインタビューをする中で、学習支援に興味を持ち、後輩たちの役に立てるなら、と「さくらんぼ」※3でのボランティアを始めました。初めは、恥ずかしさもあり、年の近い中学生とどう話したらよいか悩んでいました。徐々に慣れ、高校入試の面接練習の際には、昨年自分が受けた経験を活かし、その時に感じた思いを中国語でアドバイスしていました。中国語で後輩の相談をうけたり、年の近い若者にしかできない支援をしています。

自分のつながる国の紹介や学習支援をする活動に関わる若者が、これからもっと増えていくように、若者の支援を続けていきます。

南区施設訪問④「永田台コミュニティハウス」

場所：永田みなみ台6-1(永田台小学校内) 電話 045-721-0730

近くに大きな永田台団地があり、多くの地域の方がこの施設を使っています。様々なグループの登録がありますが、高齢化が進み、人数が減っているというグループもあるそうです。

外国につながる人が多く住む団地や子どもログハウスが近くにあり、ログハウスには中国人の親子も多く来ているとのこと。

コミュニティハウスで活動しているグループの中から、「かんがある」という読み聞かせグループを取材しました。

読み聞かせグループ「かんがある」を取材しました。

活動内容
絵本や紙芝居の読み聞かせ、工作、パネルシアターなど第2土曜日14時~14時30分に活動しています。

取材の日、永田台小キッズクラブの子どもたちなど9人が参加。かんがあるのボランティアは3人。紙芝居、本の読み聞かせ、手遊び、折り紙工作と盛りだくさんのメニューでした。



メンバー募集しています
場所：永田台小学校内 市民図書室
日時：第2土曜日 14時~14時30分



参加者より
今日はパクパクきつねを作って楽しかった。(永田台小の児童)
毎回趣向を凝らしてくれて子ども達も楽しく参加させてもらっています(キッズクラブのスタッフ)

高橋館長より

「かんがある」は月1回永田台小学校の市民図書室で活動している、この地域のボランティアです。長く活動を続けてくれていてありがたいです。夏祭りには大々的な影絵でも出演してくれ、評判がとてもよかったです。

シリーズ：タウンニュースの記者が“見た・聞いた・感じた”

このコーナーでは、地域情報新聞「タウンニュース」南区版の門馬康二編集長が、日々、南区を回中で感じたことなどを綴っていきます。門馬編集長は南区を担当して13年目。区役所などの行政機関や商店、市民団体などを取材し、イベントなどの現場にも足を運んで記事を書いています。



門馬編集長(撮影：若尾久志)

市民活動知一冊

新型コロナウイルスの影響で思うように活動できない今、この機会に自分たちの活動を見直してみようでしょうか。

その手助けとなる本「ザ・まち普請 市民の手によるまちづくり事業のキモ」が出版されました。これは、横浜市が住みやすいまちづくりに取り組む市民のアイデア実現へ支援、助成を行う「ヨコハマ市民まち普請(ぶしん)事業」の事例を中心に、市民の手によるハードづくり事業をまとめた

ものです。同事業で市民の支援を数多く行ってきた特定NPO法人「横浜プランナーズネットワーク」が執筆・編集しました。

南区からは六ツ川地区連合自治会が南区役所の補助金事業で始めた農作業を通したまちづくりである「六ツ川野外サロン」が取り上げられています。

「まち普請」は2005年に開始。審査を通過した団体に最大500万円が助成され、すでに市内50カ所以上の施設整備に活用されています。本では30事例を詳細に紹介。地域の課題と解決へ向けてどのような過程をたどったかが綴られています。

そのほかにも、さまざまな団体の取り組みが掲載されており、活動のヒントになりそうです。

A5判、256ページで2,500円。問い合わせは同法人 ☎045-681-2922



多くの事例が掲載されている

登録団体活動紹介ルー

地域の外国人に日本語を教える
「あい♡にほんごクラブ」

〔団体結成の経緯〕

2007年の日本語ボランティア養成講座の受講者たちが「せっかく一緒に学んだのだから、自分たちでグループを作ろうよ」という気運になり、2008年4月に「あい♡にほんご教室」を開きました。語学素人の人たちが、地域に暮らす外国の人たちと友人のように対話しながら、生活の日本語を覚え、一緒に生活する習慣を知ってもらおうと、手探りでもがき続けて、12年になりました。

〔目的〕

私たちの地域にはたくさんの外国ルーツの人たちが暮らしています。言葉が不自由なため日本人社会に馴染めない人たちに、おしゃべりしながら簡単な日本語や日本の生活習慣を覚えてもらい、地域で快適な生活ができるようお手伝いします。またそのことが「日本人ってみんな親切だな。横浜に暮らしていい人たちに出会えたな」と思ってもらえるよう願っています。

〔活動内容〕

- 毎週日曜午後（13:30～15:00）みなみラウンジで活動しています。
- 指導方法は原則としてグループレッスン形式（現在4クラス）で行います。
- 新規のボランティアは、ベテランのボランティアについてレッスンに参加します。

以下のモットーが実践されて、ボランティアも学習者も楽しめる教室になれば、と思います。

- ・できる範囲でできることをやろう
- ・教えるのではなく友だちになろう
- ・無理なく楽しくボランティアしよう

新規ボランティア募集中！

日本語学校ではありませんので、日本語教師資格・経験はなくても大丈夫です。また外国語も必要ありません。



【問合せ先】 野田（Noda）
080-3017-4543

お知らせ

8月に当ビル浦舟複合福祉施設でおこなわれる「納涼祭」で、新規登録者またはこれから南区での活動をしたいとお考えの街の先生を対象に、「1日体験講座」の講師募集を、4月以降始める予定です。現在登録されている街の先生方の中で該当される先生には、4月以降お知らせを送付いたします。ご確認ください。これから、南区で活動してみたいと思われる方はぜひこの機会にご登録をよろしく願いいたします。

新しく登録した街の先生

骨格整体：杉原宏昭

（対象：子どもから大人まで）

あなたの不調の原因は？骨格ドック®（検査）を行い、骨のゆがみ（1mm以下のズレ）を元に戻し、カラダ本来のバランスを整えます。生活習慣の改善、健康増進にご活用いただけます。きれいな姿勢づくりのためのご指導・実演・講義ができます。



みなみ市民活動・多文化共生ラウンジは、誰もが心豊かでいきいきと生活できる元気な地域を実現するために自主的な活動を応援します。市民活動・生涯学習の相談・情報の提供、機材の貸出・ミーティングスペース等の利用ができます。

活動のPR・仲間募集をしませんか？

利用登録団体は、各団体が行っている市民向け講座やイベントなどのPR、メンバー募集などをすることができます。ご希望の際には、いつでもご連絡ください。

次回原稿〆切：5月10日（6月発行）

発行者：みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ
〒232-0024

横浜市南区浦舟町3-46 浦舟複合福祉施設10階

045-232-9544（日本語）

045-242-0888（外国語）

当施設は南区から委託を受け、YOKEが運営をしています。

